

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/17 （11/10との比較） 今後の見通し （※4）	11/17 （11/10との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.94% （▲0.03）	87.85円 （▲1.86%）	+3.7% 2017年2Q	1.00%	CPIは市場予想通りの結果。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉第5回は難航。IEA（国際エネルギー機関）が世界の原油需要見通しを下方修正し、原油価格が下落。国債利回りは小幅低下。カナダドルは対円で下落。	小売売上高などの発表を予定。NAFTA再交渉は特段進展がないと予想される。債券・為替市場は中東情勢などを背景とした原油価格や米国経済に左右される展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.55% （▲0.09）	34.41円 （▲0.55%）	+0.3% 2017年2Q	7.50%	小売売上高は市場予想を上回る結果。都市相がテメル大統領に辞任を申し出たことを受けて、当初より閣僚再編が早まったことで政治的不透明感が強まり、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	経常収支や海外直接投資などの発表を予定。財政改革や政治リスクの動向が主な変動要因となると見込むも、中銀の介入姿勢や利下げ観測などから債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	7.10% （+0.02）	5.92円 （▲0.32%）	+1.6% 2017年3Q	7.00%	米国がNAFTAから離脱した場合のマクロ経済面での対応策を、政府と中銀が準備中だと発表。IMF（国際通貨基金）が同国の経済成長率が鈍化すると見通しを示し、ペソは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	小売売上高やGDP（国内総生産）などの発表を予定。NAFTA再交渉は難航が続くと予想される。また大統領選のリスクが意識される展開が続くと想定され、上値は重い展開を予想。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。
















	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/17 (11/10との比較)	11/17 (11/10との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.57% (▲0.04)	84.81円 (▲2.49%)	+1.8% 2017年2Q	1.50%	企業景況感指数は良好な結果。二重国籍問題を巡り、首相の支持率が過去最低になったことや、賃金指数の伸びが市場予想を下回ったことなどを受け、オーストラリアドルは対円で下落。国債利回りは低下。	景気先行指数や中銀の議事録の発表、ロウ中銀総裁の講演を予定。株式市場が高値圏で推移しているため、利益確定の売りが出やすいほか、国内政治不安を受けて、為替市場は上値が重い展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.86% (▲0.07)	76.34円 (▲3.03%)	+2.5% 2017年2Q	1.75%	消費者信頼感指数と製造業PMIは高水準ながらも前回よりやや低下し、生産者物価指数の伸び率は鈍化。景気に勢いが見られずインフレ率が抑制された状況が続く中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	サービス業景況感指数や小売売上高、貿易収支などの発表を予定。景況感の大幅な改善が見込まれない中、米国の祝日に関連し市場の流動性も低下する可能性が高く、為替市場は上値の重い展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.53% (▲0.05)	13.59円 (▲2.60%)	+3.2% 2017年3Q	0.50%	GDPは前回を下回る結果。政府系ファンドを運営する中銀は、経済全体が石油に過度に影響されることがないよう、石油・ガス株からの投資引き揚げを提案。ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	失業率などの発表を予定。経済指標から景気の緩やかな回復を確認。中銀による石油・ガス株からの投資引き揚げの提案は、2018年秋にも財務相が決断する可能性があるものの、予断を許さない状況。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/17 （11/10との比較） 今後の見通し （※4）	11/17 （11/10との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	8.30% （▲0.03）	8.00円 （+0.90%）	+1.1% 2017年2Q	6.75%	小売売上高は前年比で市場予想を上回る結果。米大手格付機関のレビューなどを控える中、新興国市場の上昇に沿って、ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	金融政策決定会合や米大手格付機関による債務格付けの発表などを予定。重要なイベントを控えてさまざまな報道が出やすく、債券・為替市場は変動率の高い展開を想定。市場の方向性は格付け結果に左右されると予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.24% （▲0.09）	0.83円 （▲1.07%）	+5.1% 2017年3Q	4.25%	中銀は市場予想通り政策金利の据え置きを決定。また、中銀は2017年のGDP成長率予想を従来の5.0-5.4%から5.1%に修正。国債利回りは低下。ルピアは対円で下落。	主な経済指標の発表はなし。マーケット全体のセンチメントや、米国サイドの材料に影響を受けやすい展開が予想される中、ルピアはやや底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利低下		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.90% （+0.10）	1.72円 （▲1.02%）	+5.7% 2017年2Q	6.00%	CPIは市場予想を上回る結果も、貿易収支は市場予想以上に赤字幅が拡大。政府による経済・構造改革が好感され、米大手格付機関は格付けの引き上げを決定。国債利回りは上昇。ルピーは対円で下落。	主な経済指標の発表はなし。銀行の資本増強のための債券発行はいまだ不透明。主要国の金融政策正常化観測の高まりや、さえない経済指標、財政悪化観測などから、債券・為替市場は軟調な展開を想定。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

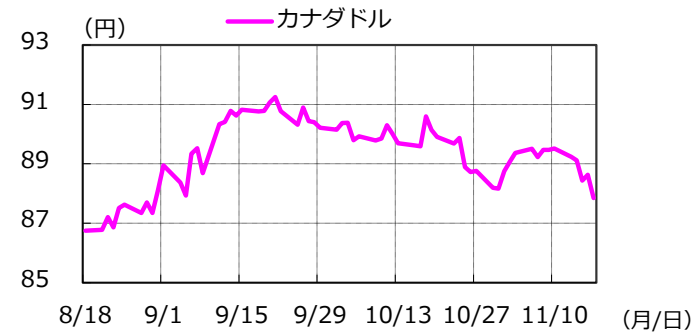
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

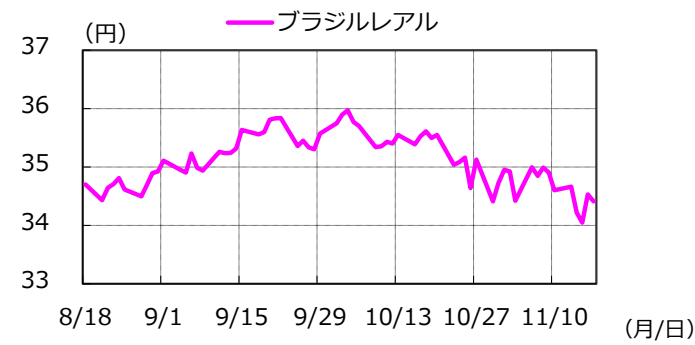
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/18～2017/11/17

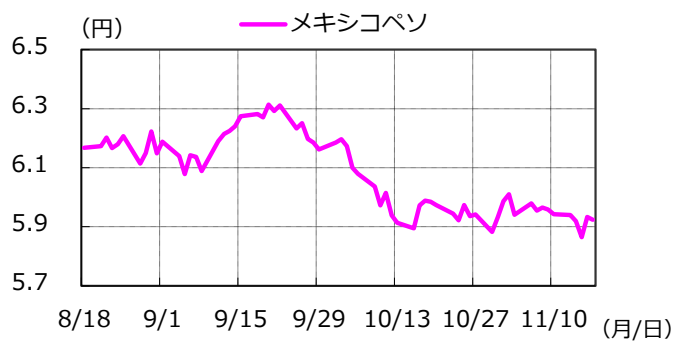
カナダ



ブラジル



メキシコ

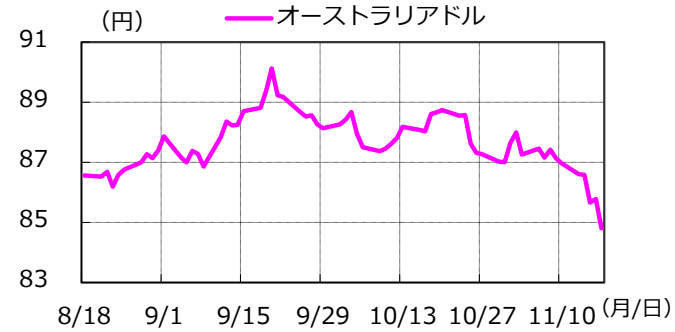


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

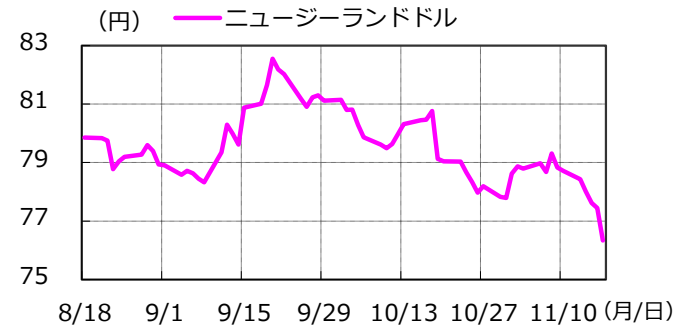
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/18～2017/11/17

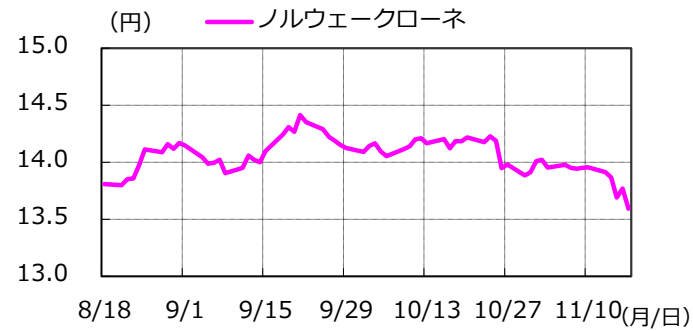
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

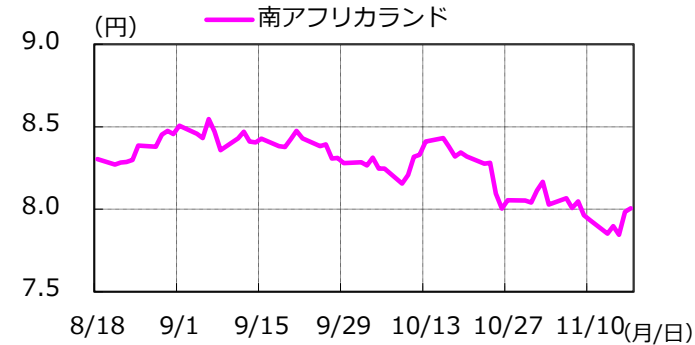


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/8/18～2017/11/17

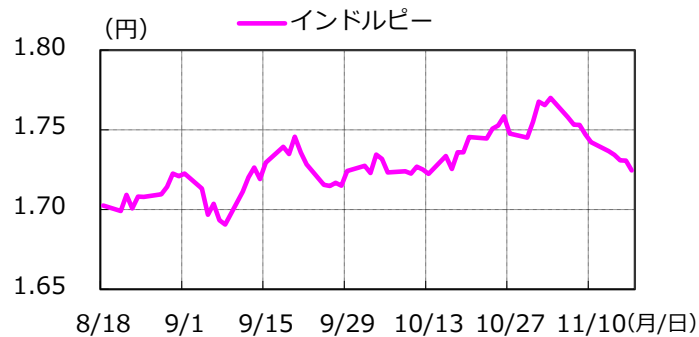
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。